

魁新聞関連記事

[1996年 \(H8\) 4月 7日 佐々木 富也会長引退](#)

[1996年 \(H8\) 4月 28日 澤木新会長就任](#)

[1996年 \(H8\) 7月 24日 8年度秋高連総会](#)

[1996年 \(H8\) 9月 26日 五城目高秋高連に加盟](#)

[1997年 \(H9\) 7月 19日 9年度秋高連総会](#)

[1997年 \(H9\) 10月 24日 秋高連秋田訪問](#)

[1998年 \(H9\) 4月 1日 澤木会長 再任](#)

[2000年 \(H11\) 7月 25日 秋高連創立15周年](#)

[2002年 \(H14\) 7月 15日 14年度秋高連総会](#)

[2003年 \(H15\) 7月 20日 15年度秋高連総会](#)

[2004年 \(H16\) 7月 31日 16年度秋高連総会](#)

[2005年 \(H17\) 7月 29日 秋高連20周年記念総会](#)

[2006年 \(H18\) 5月 26日 友成新会長就任決定](#)

[2006年 \(H18\) 6月 4日 友成新会長就任](#)

[2007年 \(H19\) 7月 19日 秋高連「旗」の披露](#)

[2008年 \(H20\) 6月 17日 明德図書館に植樹](#)

[2008年 \(H20\) 7月 24日 20年度秋高連総会](#)

[2008年 \(H20\) 11月 20日 作曲家仙道さん講演](#)

[2009年 \(H21\) 7月 23日 21年度秋高連総会](#)

首都圏の秋田人

秋高連会長を 4年間務める

湯沢出身・佐々木さん

「バトンはしっかりと受け取って落とすな、自分のコースを外れるな、オーバースーンはするな、と陸上競技のリレーで教わった。先輩からバトンを受け取り、それをいま渡すが、新しい気持ちで母校はもとより郷土に誇りをもち、応援していくような会になってい



ただきたい」

二期四年間務めた在京秋田県高校同窓会連合会長を退いた佐々木富也さん(六五)写真Ⅱは、湯沢市関口出身で、湯沢高一期生。先月末に澤木誠一氏(秋田工)に会長を引き継いだ。そのあいさつや謝辞で、短距離、リレー、走り幅跳び、三段跳び選手として活躍した若き日々刻まれた教えを例に、こんな言葉を述べた。

秋高連会長として本県

関係の各種会合に出席。

「集まりには五年や十年といった区切りがあるが、そうした節目を大事にしたい。われわれの誕生日と一緒に来し方を思っただけで、行く末の一層の発展を考えるよい機会」秋田の人は親切で優しい長所があるのに、酒が入れば別だが、ふだんは表情が少なく損をしている。話をするときには、目にちょっと笑みをたたくると、よき県民性が表に出る」など、昭和二十四年に東京教育大(現筑波大)入学以来、四十七年間住み続ける東京からふるさとへの愛着を込めて話をしてきた。

大学卒業後に私立芝高教諭を務め、タイヤ販売会社を経て独立。事務機販売の互興産業を興し、今も互興ビルと二社の社長。かつては七社を経営していたが「意欲と責任感のある若い人が育ったので委譲した」。その一方で東京しいの木ライオンスクラブの初代会長などを歴任。現在は学校法人東京成徳学園評議員を務め、保護司の活動もしている。湯沢高の東京同窓会長で、一期生の集い

である「総領会」の会長として世話役を引き受けている。「一期生の誇りと個を確立したいという気持ちはいまも胸の底にある」

「秋田と首都圏の距離はどんどん縮まってく。首都圏在住者は、県勢発展にいささかでもお手伝いしたいと思ってる人々が多い。秋高連は人材が豊富だし、ネットワークも広い。ふるさとと相乗効果を発揮できればうれしい」。自宅は東京都新宿区下落合四ノ二四ノ一二。

1996年(H8)4月28日 秋高連 澤木新会長就任

首都圏の秋田人

秋高連総会で 年代超え交流

新会長の澤木さん

在京秋田県高校同窓会連合会の新会長に東京秋上会会長の澤木誠一さん(六三)写真Ⅱが、さる一日から就任した。秋高連には首都圏に住む卒業生が集う県内四十五校の同窓会が加盟し、交流を続



けている。十一年前に創立され、今年も七月に各同窓会から計三百人が出席して全体総会を開く。

「秋田県の高校卒業生として連携の輪を広げ、深めていきたい。総会では途中で各テーブルのメンバーをガラリと変え、交流する場をつくっている。若い人々をもっと受け入れ、年代を超えて親

ぼくできれば、よいのですが」

秋田市保戸野出身で、

秋田工電気科卒。三年間、日立製作所日立工場に勤めた後、東京理科大学物理学科を昭和三十三年に卒業。同年八月に弁理士資格を取得し、翌三十四年に澤木萬國特許事務所を開設。現在は同じ弁理士の長男とともに東京・虎ノ門で開業している。

「意匠、商標、特許・実用新案と全体的に出願件数が増えた。人間のアイデアは尽きることがない、とつくづく思う一方で、知的所有権の権利意識の高まりを感じる。最近では企業が特許部門を設けており、事務所はこれまでよりコンサルタント的な仕事が多くなった。また訴訟も目立ち、裁判所に出向く機会も増えた」と語る。三千八百人いる弁理士会の副会長、弁理士協同組合理事長などを歴任し、平成元年に

は工業所有権の権利擁護に尽力した功労で、黄綬褒章を受章した。

秋高連では副会長、幹事長を各四年務めてきた。創立当初からの実情にも詳しい。「各校の協力で結束を一層強めていきたい」。自宅は神奈川県横浜市戸塚区矢部町一四九九ノ二八。

青春時代懐かしむ

東京で 秋高連 320人出席し総会



在京県高校同窓会連合会(秋高連)の八年度総会がこのほど東京・池袋のホテルで開かれた。加盟三十六校の在京同窓会支部の代表

ら三百二十人が出席し、高校、地域の枠を超えて旧交を温め合った。

澤木誠一会長(秋田工)は「就任して初の総会。和を以て貴しと為す」を信条にしていく。昨年は創立十年の節目。今年は新たなスタートであり、一段と交流を広げ、発展するよう努めたい」とあいさつ。

来賓として出席した佐々木知事は高速交通体系の整備、試験研究、高等教育機関の充実など新総合発展計画後期計画を説明、「全国に向けて観光秋田のPR作戦も展開している」と協力を要請。県政を揺るがしている食糧費問題にも触れ、「今後このようなことがないようにする。早く解決するよう努力したい」と述べ

36校の県内高校同窓会の在京支部が交流した秋高連の総会

べた。

懇談会は、佐々木富也前会長(湯沢高)の音頭で乾杯。各校が校旗を掲げながら紹介され、壇上ではふるさとでの青春時代に思いをはせながらの合唱などが披露された。後半は出席者の席が大幅に入れ替わる趣向で、交歓の輪を広げた。

●五城目高同窓会関東支部●

秋高連への 加盟決める

復活二年目となる五城目
高校同窓会関東支部(猿田
和男支部長)はこのほど、
東京都内で八年度総会を開
き、在京秋田県高等学校同
窓会連合会(秋高連)への



秋高連への
加盟などを
決めた五城
目高校同窓
会の関東支
部総会

加盟などを決
めた。

総会には首
都圏在住のO
Bら七十人の
ほか、地元か
ら出口金也校
長、一関肇同

窓会副会長が出席。猿田支
部長のあいさつの後、出口
校長は「かつては生徒数一
千人を超えたこともあった
が、林業科や家政科の廃止
で現在は普通科のみで生徒
も四百人ほどになった。そ
れでも特色ある学校づくり
に向け、生徒は勉学や部活
動に頑張っている。今後と
も支援をお願いしたい」と
述べた。

同支部は十年以上、活動
を停止していたが昨年から
復活。総会では、より身近
な同窓の集まりにしようと
支部の名称を「東京森山会」
とすることも決めた。

高校時代の話題に花

秋高連が 37校の300人懇談
東京で総会

秋高連が東京で総会

秋高連



在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の総会がこのほど、東京・東池袋のホテルで開かれた。写真。

発足十二年目を迎えた総会には、県内三十七校の同窓会東京支部から約三百人が出席した。

沢木誠一会長が「県の食糧費問題で県出身者は肩身の狭い思いをしたが、東京において県政を考えるいい機

会になった」などとあいさつ。来賓の寺田典城知事が「住み良さ、暮らしやすさ、安全さなど本県の豊かさを見直し、誇れる県にしたい」と述べた。

続いて懇談に入り、各校の同窓生が入り交じって高校時代の思い出話をした。互いの同窓会運営などについて情報交換。全員で県民歌を歌い上げ、県勢の発展を願った。

「秋田WG広めたい」

在京県高校
同窓会連合会 本社などを訪問

在京秋田県高校同窓会連合会（秋高連）の一行が二十三日、秋田魁新報社と県庁、秋田市役所を訪れた。

秋田新幹線の開業、秋田自動車道の東北自動車道との連結で首都圏とふるさととの時間距離が短縮されるなど「変ぼうする秋田」を肌で感じ、「応援団」としてできることを模索しようとして初めて企画した。

秋田魁新報社では、来年の大館能代空港（愛称・あきた北空港）のほか、本県で二〇〇一年に開催するワールドゲームズ（WG）が話題に。一行は、「秋田」が世界に発信されることに強い関心を寄せ「WGの秋

田開催を東京で会員に浸透させるとともに、

周囲にアピールしたい」と贈られたバッジを胸に応援団ぶりを発揮していた。

県庁では池田達雄秘書課長と永木宏明観光課長、同市役所では鈴木忠第二助役らを表敬訪問した。秋高連は県内各高校同窓会の東京・首都圏支部の連合体で、昭和六十一年に発



ふるさと応援団としての意欲を語る秋高連の一行（秋田魁新報社）

足した。今後は外へ向けた活動を広げようと、ふるさと訪問を実施した。

今回は佐々木富也顧問（湯沢）、高堂武吉相談役（秋田中央）、澤木誠一会

長（秋田工）、真壁貞子副会長（大館桂）、立花克憲副会長（秋田南）、武藤正幹事長（大館鳳鳴）、松岡利男副幹事長（米内沢）、池端一道さん（能代西）、小林峰子さん（横手城南）の九人が訪れた。

1998年 (H9) 4月 1日 澤木会長 再任

会長に澤木氏再任

在京秋高連

在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の委員会がこのほど、東京・神楽坂で開かれ、会長に澤木誠一氏(秋工OB)を再任した。

委員会には県内三十校のOB三十五人が出席。役員改選のほか、本年度の総会を七月中に開くことなどを決めた。

会長以外の主な役員は次の通り。

▽副会長Ⅱ武藤正(大館鳳鳴、新任)、小林峰子(横手城南、同)、立花克憲(秋田南、再任)▽幹事長Ⅱ松岡利男(米内沢、新任)▽副幹事長Ⅱ八柳昭義(能代、同)、桜田せつ子(角館南、同)、渋谷孝男(金足農、再任)

2000年(H11) 7月25日 秋高連創立15周年

37校の会員270人出席

在京県高校同窓会連合 創立15周年祝う



在京秋田県高校同窓会連合会(秋高連)の創立十五周年記念総会が二十四日、東京・新宿のグランドヒル市ヶ谷で開かれた。写真。県内の三十七校の在京同窓会から約二百七十人が出席、県勢発展のために力を結集することを誓い合った。

総会では澤木誠一会長(秋田工高卒)が「秋高連の活動趣旨は単なる会員の交流にとどまらずに、郷土秋田の産業、経済、文化を

応援することだ。二十一世紀目の今、郷土のために何ができるか考えたい」とあいさつ。十五周年を記念し、秋高連の発展に寄与した五人に表彰状を贈った。受賞者を代表し、佐々木富也さん(湯沢高卒)が「お互い手を握り合って、さらに秋高連を発展させたい」と述べた。

県東京事務所の中村徹所長が、来年八月に本県で開かれるワールドゲームズへの支援を呼び掛けた後、東京地区県人会連合会の渡部建藏会長の音頭で乾杯。出席者たちは学校の垣根を越えて懇親を深めた。

佐々木さん以外の受賞者

は次の通り。(敬称略)

金谷勇(秋田高卒)、成

田富治郎(大館鳳鳴高卒)、

柴辻正(秋田商高卒)、荒

川七郎(本荘高卒)

在京県高校同窓会連が総会 郷土の支援誓い合う



1929年創立
真人会

在京秋田県高校同窓会連合会（秋高連）の十四年度総会がこのほど、東京・新宿のグランドヒル市ヶ谷で開かれた。写真。県内三十六校の在京同窓会員をはじめ、寺田

典城知事、小野清子参議院議員ら二百七十五人が出席し、郷土秋田を支援することを誓い合った。

総会では、澤木誠一会長（秋田工高卒）が「地方分権や市町村合併など難しい問題が山積しているが、県には頑張ってもらいたい。私たちは県と緊密な連携を取りなが

ら、それぞれの母校ならびに県勢発展のための支援を惜しまない」とあいさつ。寺田知事は「人材育成が大きな課題であり、しっかり取り組んでいきたい。会員の皆さんも秋田にメールを送ってほしい」と述べた。

引き続き、東京地区県人会連合会の渡部建蔵会長の音頭で乾杯。有志が民謡や日本舞踊を披露するなど、出席者たちは学校の垣根を越えて懇親を深め、最後には全員で秋田県民歌を斉唱した。

宮城県人會

在京県高校同窓会連
学校の垣根越え
年に一度の交流

300人出席し総会

在京秋田県高校同窓会
連合会（秋高連）の十五



年度総会がこのほど、東
京・市ヶ谷のグラントヒ
ル市ヶ谷で開かれた。写
真。県内三十七校の在京
同窓会員をはじめ、西村
哲男副知事、小野清子参
議院議員ら約三百人が出

県内の各高校の代表が集
まった総会。他校の皆さ
んとも親ぼくを深めてほ
しい」とあいさつ。西村
副知事は市町村合併の進
行状況や十九年のわか杉
国体、来年開学する国際
教養大などについて近況
を報告した。

席し、交流
を深めた。

澤木誠一

会長（秋田
工卒）が「市
町村合併を
はじめ、学

花柳喜久朗さん（秋田
中央卒）と花柳徳次海さ
ん（横手城南卒）による
日本舞踊「連獅子」に続
き、東京地区県人會連合
會の渡部建藏会長の音頭
で乾杯した。

校の統合、
中高一貫教
育の推進な
ど古里にも
いろいろな
問題はある
が、年一回、

その後、有志が民謡や
カラオケを披露するな
ど、出席者たちは学校
の垣根を越えて親ぼく
を深め、最後には全員で
秋田県民歌を斉唱、古里
への思いを募らせてい
た。

300人、交流楽しむ

秋高連 総会に36校の同窓生



在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の



本年度総会が二十九日夜、東京・市ヶ谷のグラントヒル市ヶ谷で行われた。写真。県内三十六校の在京同窓生をはじめ、

西村哲男副知事や小野清子国家公安委員長ら約三百人が出席、年に一度の交流を楽しんだ。

澤木誠一会長(秋田工卒)が「夏の高校野球県大会では秋田商が春に続いて甲子園出場を決めた。秋高連としても応援したい。秋田では高校の再編が本格化するが、母校が統合されても同窓会がなくなるわけではない。各校の垣根を超えて団結しよう」とあいさつ。続いて小野国家公安委員長、西村副知事が登壇。この中で西村副知事は市

町村合併に触れ、「来年中には現在の六十九市町村が二十一市町村になる見込み。占里の市町村名が消えるのは寂しいものだが、広がりのあるまちづくりが進むことであり、温かく見守ってほしい」と述べた。

花柳徳次海(本名小林峰子)さん(横手城南卒)の日本舞踊に続き、東京地区県人会連合会の煙山力会長の音頭で乾杯した。参加者は学校の絆を超えて交流、最後に県民歌を斉唱し、占里に思いをはせていた。



37高校卒業生

20周年の節目祝う

在京県同窓会連合会

在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の二十周年記念総会が二十八日夜、東京・市ヶ谷のグラウンドヒル市ヶ谷で行われた。写真。県内三十七校の在京同窓生をはじめ、小野寺清・県教育長、小野清子参院

在京秋田県高等学校同窓会連合会総会

秋高連
あき こう けん



議員ら約三百人が出席、二十周年を祝いながら年に一度の交流を楽しん

だ。

澤木誠一 会長(秋田工卒)が「各校の垣根を越え、さまざまな方々の力添えで二十周年を迎えられ感謝したい。甲子園には秋田商の出場が決まった。皆さんで応援しましょう」とあいさつ。小野寺教育長は、中高一貫校や単位制高校など高校再編整備の動向を説明した。

また功労者として、幹事長などを務めた松岡利男さん(米内沢卒)と前副会長の立花克憲さん(秋田南卒)の二人が表彰された。

首都圏県人会連合会の煙山力会長(文京区長)の乾杯で懇談に入り、各校のテーブルでは、母校の運動部の成績や高校再編による統合問題

戻る

2006年(H18) 5月26日 友成新会長就任決定

新会長に友成氏

秋高連

在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の委員会がこのほど都内で開かれ、友成穂秀幹事長(六九)が能代西高出身として新会長に選んだ。任期は二年。

秋高連は高校同窓会の在京支部四十七団体で構成しており、昨年度は創立二十周年を迎えた。本年度の全体総会は七月十二日に開かれる。

新役員は次の通り。(敬称略)

▽最高顧問 澤木誠一
(前会長)▽顧問 佐々木富也(元会長)▽会長 友成穂秀▽会長代行 柴田秀二▽副会長 布田祐五郎、刈田カイ、佐々木強二、小石実、佐藤規▽幹事長 畠山信孝▽副幹事長 鷺見千代子、能見京子、宮腰昇三、榎利美、和田武男、高瀬格、武石鉄昭、中山文夫▽会計 片谷勉、長瀬良市、小笠原了子▽監査 船木俱子、近藤正司、武藤正

戻る

あきた人

秋高連会長に就任 活性化へ意欲示す

旧能代農高出身の友成さん



県教育長から高校再編についての話を聞く予定。来年度以降は大学教授を呼ぶなどして拡充させる方針だ。

(旧能代農高)OB。現在、能代西高関東同窓会の幹事長を務めている。県内高校同窓会の在京支部四十七団体で構成する秋高連。五期十年にわたって会長だった澤木誠一さんを会計、幹事長として支えてきた。

在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の新会長に友成穂秀さん(六九)写真Ⅱが就任した。青森県深浦町(旧岩崎村)出身で、能代西高出身で、能代西高講演会を計画しており、田わか杉団体の際には会員で古里を訪問することを計画中。

旧能代農高から日大法

学部に進み、卒業後に里

川木徳証券に入社した。

「株価が上がっていると

きではなく、いわば潮の

変わり目のときにどれだ

け的確なアドバイスがで

きるかが営業のポイント

」。そうした姿勢で顧

客の信頼を勝ち得て、堂

業担当や調査・情報担当

の役員を務めた。その後、

マンションなどの管理運

営をする会社に嘱託とし

て勤め、三月末に退職し

た。

趣味は海釣り、東京

湾などでハゼやカレイを

釣る。ワインにも詳しく、

家にはスペイン、チリ産

などを収めたワインセラ

ーがある。東京都武蔵野

市住。

在京秋高連総会 高校生考案の「旗」披露 元気な秋田づくり誓う



在京秋田県高等学校同窓会連合会（秋高連）の本年度総会が十七日夜、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれ、創立二十二年目にして初めて作られた「秋高連の旗」が披露された。

総会には県内四十五校の在京同窓生ら約三百七十人が参加。友成穂秀会長が「秋田では今年、四十六年ぶりに国体を開くなど元気な秋田づくりにまい進している。秋高連でも会員相互の親睦を図り、秋田県勢の発展に向け提言していくために具体的に取り組んでいくかを検討している」とあいさつするとともに、秋高連の旗について「能

踊りも披露された懇親会―東京・九段北

代西高、秋田南高、仁賀保高の生徒に図案を提案してもらい、それぞれのいいところを取った」と説明した。

佐々木毅学習院大教授（前東大校長）の「私の育った秋田」と題する講演の後、懇親会に移り、首



「秋高連の旗」。秋田杉をイメージし、地色は濃緑色とした

都圏秋田県人会連合会の煙山力会長の音頭で乾杯。参加者は母校の再編問題や運動部の活動などを話題に懇親を深め、最後は全員で「ISOGAMI」を合唱した。

「郷里との懸け橋に」

在京県高校同窓会連合会とけやき会

明徳図書館に桜植える

在京秋田県高等学校同窓会連合会（秋高連、友成穂秀会長）と在京の秋田市内の高校出身者でつくるけやき会（伊藤晶会長）は十六日、秋田市の中央図書館明徳館の中庭に桜の苗木二本を植樹した。

秋高連やけやき会の会員ら約二十人が参加。友成会長が「植樹した桜が、在京の秋田県人と郷里をつなぐ一つの懸

け橋になってほしい。すくすく成長して地元の方にも愛でてもらえればうれしい」とあいさつ。会員たちは交互にシヤベルを持ち、約二鉢のソメイヨシノの苗木に「きれいな花を咲かせて」などと声を掛けながら、土をかけていた。会員たちは十五日に北秋田市で行われた全国植樹祭に参加するために来県。桜の植樹



ソメイヨシノの苗木を植樹する秋高連とけやき会の会員たち

は両会と地元・秋田とのきずなを深めることを目的に行われる千秋公園の入り口にある植樹場所に選んだ。どの理由から、同館の中庭を

ふるさと 県人会

秋高連総会

古里活性化策探る

在京の県高校同窓会連合会(秋高連、友成穂秀会長)の総会と講演会が二十三日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で開かれ、古里の活性化策を探り合った。

約三百人が出席。友成会長のおいさつに続き、来賓の根岸均県教育長が「TDKの斎藤憲三氏のように、地球規模

で貢献する人材が本県からもっと出るべきだ。高校教育の充実を図りたい」と強調。小野清子元国家公安委員長は日本スポーツ振興センター理事長としてこの日、合宿中の

北京五輪日本代表選手たちを激励してきたことを紹介した。

講演会で国際教養大の勝又美智雄教授は「秋田の底力と



約300人が出席した秋高連総会・講演会

展望」と題し、温和で癒やし系の本県の県民性が今後重要視されてくると指摘。「観光面でリピーターを呼び込むようなフォローが足りない。首都圏在住者が最高の知恵袋、PR担当となり、秋田を支えてほしい」と積極的な協力を呼び掛けた。

ふる さと 県人会

在京高校同窓会連合会

作曲家仙道さん

仕事のコツ講演

在京秋田県高等学校同窓会
連合会（秋高連、友成穂秀会
長）はこのほど、羽後町出身
で作曲家の仙道作三さん（六三）
を招いて講演会を開いた。写
真。

各校同窓会の代表ら約八十
人が出席。「作曲家の仕事」
と題して、仙道さんは街頭や
自然界、日常生活上の音を聞
き分けて社会活動に生かす
「サウンド・ハンティング」
のコツなどを紹介した。

ドイツでは、湯沸かし器の
沸騰を知らせる音がオーケス



トラの楽器の音合わせの音と
同じで不快感を与えないのに
対し、日本では「ピー」とい
う甲高い音で騒音に聞こえる
事例などを説明。「日本でも
技術革新する際には、文化の
要素を取り入れてほしい」と
訴えた。また、古里について
「四季折々に表情豊かな羽後
町の自然環境が、作曲家とし
て必要な右脳を鍛えてくれ
た」と述べた。

仙道さんは歌人と謝野晶子
生誕百三十年を記念し、ひと
りオペラの新作「与謝野晶子
みだれ髪」の初演を十二月
十八日に東京のヤマハエレク
トーンシテイ渋谷で行う。

ふるさと 県人会

在京県高校同窓会連

出身校の垣根越え
360人が交流深める

在京秋田県高等学校同窓会
連合会（秋高連、友成穂秀会
長）の本年度総会・懇親会が
22日、東京都千代田区のアル

カディア市ヶ谷で開かれ、県
内41校の同窓生ら約360人
が出席した。写真。

友成会長は「今の不況がい
つまで続くかは分からない
が、秋高連の仲間と声を掛け



合いながら、元気に生きてい
こう」とあいさつ。来賓の大
野忠右工門県議会議長らの
あいさつに続き、首都圏県人
会連合会の煙山力会長の音頭
で乾杯。出席者は出身校の垣
根を越えて交流を深めてい
た。

総会では、仙北市出身の作
家西木正明さんの「秋田の地
力を変革期に活かそう」と題
した講演もあった。